



遭遇！ 生きた化石！？



羽化したてのムカシトンボ



ムカシトンボのヤゴの抜け殻

巡視中、羽化したばかりのムカシトンボに出会いました。このムカシトンボはトンボ目ムカシトンボ科ムカシトンボ属に分類されるトンボで、トンボ目の中で最も原始的な特徴を残しているといわれています。そのことから、「生きた化石」とも呼ばれています。ムカシトンボは一般的なトンボと違い、イトトンボやカワトンボの様に4枚の翅を重ね合わせて閉じた状態で止まることが特徴です。

実はムカシトンボ科のトンボは世界に僅か3種類しかいないとされていて、その1種類が日本のムカシトンボになります。

とても貴重だとは思いませんか？



観察マナーを 守ろう！



踏み込みにより荒れた植生



折れてしまった植物

春から初夏となりラン科など希少種と呼ばれる花が咲き始め、観察目的で訪れる方も増えてきました。多くの方は花の写真を撮ったり観察して引き上げるのですが、一部の方のマナーの悪い行動もあります。近くで写真を撮ろうとする踏み込み、目的の植物の周りを勝手に刈り込む、写りの良い写真を撮ろうとして植物の茎を触るなどです。

昨年は撮影目的の方が強く触ったため茎が折れて枯れてしまった植物もありました。

「自分だけ観察できれば良い。」ではなく、後の人たちも楽しめるように植物観察を行いましょう。

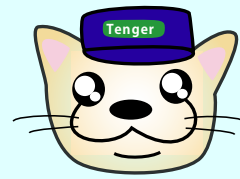


たまに見かけるけど… コレなあに？



この時期の山の中で、四つ葉のクローバーのような植物を見かけたことはないですか？見た目がとても可愛らしく、小さな踊り子のような印象を受けます。この踊り子の正体はイヌブナの実生なのです。イヌブナは毎年結実するわけではなく、数年に1度豊作年があり、豊作年の翌春～初夏にかけてたくさんの実生が見られます。しかし、夏頃にブナの実生の上木が葉を展開させると8割は枯死してしまうと言われています。生き残った実生たちも翌年、翌々年にはほとんど生き残ることが出来ないようです。

今あるイヌブナ林って凄いいと思いませんか？



梅雨の山歩き、 こんな注意を！



レインコート上下・スパッツ



ザックカバー

- 天気が変わりやすい季節。天気予報は要チェック！！
雷にもご注意を！！
- 雨具は必ず持参。休憩時には冷え込むことも。
上着や着替えを持参した方が快適です。
- 濡れて滑りやすい歩道には、登山に適した靴でしっかりと足ごしらえを。
- 最新情報はビジターセンターに聞くのが一番。ホームページにも役立つ情報が。
- 登山計画書を提出しましょう。

東京都レンジャーの業務

1. 観光客などへの利用マナーの普及、啓発
 2. 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
 3. 利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
 4. 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

自然情報などの問い合わせ

高尾ビジターセンター	042-664-7872
奥多摩ビジターセンター	0428-83-2037
御岳ビジターセンター	0428-78-9363
小峰ビジターセンター	042-595-0400
山のふるさと村ビジターセンター	0428-86-2551